

サーモカットの動作確認の方法

サーモカット付リールには電線溶解防止機能のみのタイプと電源を遮断する前にブザーが鳴ってから遮断するブザー付きタイプがあります。

電源遮断をするタイプ



ブザーが鳴ってから電源遮断をするタイプ



サーモカットの動作確認の方法は、コードリールに電源を入れ、実際にサーモカット表面をヘアードライヤーやホットガンなどで温めて80℃にして作動を確認します。

また、ブザー付きの場合はサーモカットブザー用（赤色の文字表示のほう）を先に温めてブザーが鳴るのを確認してから電源遮断用を温めて電源が遮断することを確認してください。

（ドライヤーの温度にもよりますが、ドライヤーの先からサーモカットの表面まで30～50mm位の所で暖めてください。）

サーモカット表面が40℃以下まで、さめると復帰ボタンが押せるようになります。復帰ボタンを押して電源パイロットランプが点灯するか確認してください。（復帰ボタンを押すまでは電源が入りません。）

